



いちよう

山形市立第四小学校
校長 村上 ゆかり
〈児童数 187名〉

〒990-0055

山形市相生町4番37号

TEL 623-6019

FAX 633-9321

2023 全国学力・学習状況調査結果分析

本年度も4月18日（火）に、全国一斉に全国学力・学習状況調査が実施されました。本号にて、本校第6学年児童の結果についてお知らせいたします。

なお、本調査の目的は、「義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取り組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善のサイクルを確立する。」ことにあります。したがって、本校においても、今回の結果を分析し、教育活動の改善に活かしてまいります。

1 学力調査の結果について

（1）全国と比べた本校の平均正答率（参考：山形県、山形市の平均正答率）

	国 語	算 数
本 校	同 等	+3より高い
全 国	67.2	62.5
山形市	69	63
山形県	67	61

（2）特に力がついていると言える点

- ①国語
 - ・図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。
 - ・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけること。
- ②算数
 - ・伴って変わる二つの数量が、比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述すること。
 - ・正三角形の意味や性質について理解していること
 - ・（2位数）÷（1位数）の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考えること

（3）引き続き課題として力をつけていきたい点

- ①国語
 - ・必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えること。
 - ・目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめること。

- ②算数 ・示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や除法を用いて、求め方と考えを式や言葉を用いて表し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断すること。
- ・百分率で表された割合について理解すること。

2 児童質問紙の結果について ※市教委の資料に合わせて項目を選択しています。

(1) 当てはまる、やや当てはまる児童の割合

①【家庭生活に関わること】 (％)

項 目			本 校	全 国	山形市	山形県
1	平日の家庭学習時間	30 分未満	9.7	16.0	6.7	7.6
		2 時間以上	16.1	25.6	19.5	19.8
	授業以外の 1 日の読書	30 分未満	70.9	62.7	65.0	63.3
		30 分以上	29.1	37.3	35.0	36.7
2	家で計画を立てて勉強している		71.0	70.7	78.4	79.8
3	新聞を週 1 回以上読んでいる		16.1	12.6	15.0	14.6
4	朝食を毎日食べている		100.0	93.9	95.6	95.3

②【自分自身に関わること】 (％)

項 目		本 校	全 国	山形市	山形県
1	自分にはよいところがある（自尊感情）	77.4	83.5	86.1	84.1
2	いじめはどんな理由があってもいけない	96.8	96.9	97.5	97.4
3	人の役に立つ人間になりたい	90.3	95.9	95.9	96.2
4	将来の夢や目標を持っている	93.5	81.5	81.1	82.3
5	地域の行事に参加している	61.3	57.8	63.4	75.6

(2) 結果を踏まえた今後の対応

- ① 平日だけでなく、土曜日や日曜日など学校が休みの日の家庭学習時間についても、2 時間以上が 13.0%と全国等と比べて低い傾向にあります。学年に応じた家庭学習を継続して行うことが大切です。低学年 20～30 分、中学年 30～60 分、高学年 50～90 分など、自分なりに時間の目安を決めて取り組むことを昨年度に引き続き指導していきます。
- ② 「将来の夢や目標を持っている」について、全国等と比べて高い傾向になっています。この項目については、今回伸びが大きかったので、キャリア教育の視点を踏まえた各教科等の授業を大事にしながら継続して取り組んでいきます。
- ③ 児童一人一人が自己のよさを実感することができるよう、引き続き、「愛情と信頼」に基づく、人と人のつながりを大切にした教育活動を展開していきます。いじめについても、いじめはどんな理由があってもいけないことを啓蒙しながら、学校・家庭・地域で連携して解決していきます。

この全国学力・学習状況調査は、学校や児童の状況を把握する一つの方法です。児童がよりよく育つ教育活動を行うために、ここで見えた課題を含め、引き続き保護者や地域の皆様とともに児童の成長を支えてまいります。